新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	脳組織透明化技術を用いたヒト病理組織標本の三次元的形態解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
1980 年４月１日以降現在までに、新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断された全ての患者さんです。	
③概要	
現在病理組織学的解析は、組織を薄く切って、その断面における病変の有無を確認する手法が主体です。しかしながら、特に脳組織は立体的な構造変化も重要であり、そこに生じた変化を読み解くためには、薄く切らずにブロックとして観察することが必要です。 　そのため、組織を透明化して、深部まで見えるようにして、立体的な構造変化を観察できるようにする手法を開発するために本研究を計画しました。	
④申請番号	2015-1992
⑤研究の目的・意義	脳組織の透明化と３次元免疫染色技術が確立されることで、これまで観察できなかった立体構築の異常が確認できるようになり、病態の新たな解明に寄与します。
⑥研究期間	倫理委員会承認日-令和 11 年９月 22 日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	共同研究機関である東京大学医学部システムズ薬理学分野と研究結果の情報交換をすることがあります。その場合でも、個人を特定できるような情報の提供を行うことはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢・性別・疾患名・病理学的所見
⑨利用の範囲	新潟大学脳研究所病理学分野及び東京大学医学部システムズ薬理学分野，中部大学創発学術院・AI 数理データサイエンスセンター・ロボット理工学科・情報工学科・生命健康科学部，理化学研究所脳画像解析開発ユニット，福岡工業大学情報工学部，北海道大学理学研究院，順天堂大学大学院医学研究科　生化学・生体システム医科学
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野　柿田明美
⑪お問い合わせ先	電話：025-227-0633 FAX: 025-227-0817